

# CWA NEWS



## 千葉県友好使節団

# ウィスコンシン州へ!

Hello Wisconsin!

千葉ウィスコンシン協会が設立以来、初めて派遣する『千葉県友好使節団』(団員 20 名、団長：阿部千葉大学名誉教授)が、平成 17 年 9 月 8 日(木)から 15 日(木)までの日程でウィスコンシン州を訪問しました。

今回の使節団には、「文化・芸術」、「バイオマス」といったこれまでの交流分野に加え、「学術・教育」分野の関係者が新たに加わり、マディソン市やミルウォーキー市を中心に、それぞれの分野で文化公演や、情報交換視察等を行い、交流を深めました。

当協会の団体会員でもある「かずさ DNA 研究所」とプロメガ社の共同研究契約調印式は、プロメガ社の敷地内に設けられた屋外会場において行われました。

雲一つない晴天のもと、堂本知事はわずか 1 年半でバイオテクノロジー分野において交流の成果が出たことを評価するとともに、両者の異なった研究・技術の融合により、今後、この分野において新しい研究成果が生まれることを期待すると述べました。



千葉県友好使節団

今回の友好使節団の派遣を大きなステップとして、千葉県とウィスコンシン州との友好関係は、さらに「広がり」と「深まり」を増していくものと思います。当協会も、より多くの方々にウィスコンシン州との交流を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

ドイル知事へCWAからの記念品を贈呈

また、9月11日からオハイオ州シンシナティで開催された「日本・米国中西部会 日米合同会議」に出席するため訪米した堂本千葉県知事は、友好使節団と同じ時期にウィスコンシン州を訪問し、ドイル知事との政策対話や、かずさ DNA 研究所とプロメガ社の共同研究契約調印式等へ出席しました。

両知事による政策対話では、昨年 9 月の共同声明で相互の協力分野として掲げた「経済」、「精神保健福祉」、「バイオマス」の分野で、具体的な進展があったことを確認するとともに、今後も多様な交流を積極的に進めていくこと等で合意しました。



かずさDNA研究所とプロメガ社の調印式

# 文化・芸術分野の交流

文化・芸術グループの今回のテーマは「祭り」。佐原囃子を中心とした舞台を構成しました。

訪問先はアメリカの移民社会を反映する小中学校（平均的な学校、少し豊かな学校、黒人系学校、ヒスパニック系学校）でした。子供達の公演への反応はすばらしく、どの訪問先でも多くの質問が出、初めての日本文化への関心の高さを実感しました。公演を重ねる度に演奏者も乗ってきて、観客と演奏者が一体化する場面も見られ、公演は大成功を収めました。

お花は当地のご家庭に咲く草木、花を使ってのデモンストレーションで準備が大変でしたが、お茶、お花は体験型交流が難しい状況の中、お客様と直に触れ合う場面もあり、日本の伝統文化の紹介ができたと思います。

毎日大変ハードなスケジュールの中で、アメリカの学校教育のすばらしさに触れ、ホームステイを体験し、大変充実した8日間でした。

（事務局：青木靖子）

## 文化公演・展示実演グループ

日本舞踊	藤 森 令 子	佐原市文化協会古典舞踊部
	合 田 久 香	佐原市文化協会古典舞踊部
佐原囃子下座	金 子 義 規	千葉県立佐原白楊高等学校
	藤 森 天 雄	千葉県立佐原白楊高等学校
	石 原 拓 哉	東京学館高等学校
	片 野 聡	与倉下座連
津軽三味線・尺八 民謡	長 谷 川 秀 男	千葉県民謡協会
	早 川 京 子	千葉県民謡協会
華道・茶道	富 田 照 子	千葉県茶華道協会
	小 宮 よ し 子	千葉県茶華道協会
	井 上 し づ か	神田外語大学茶道部
	樋 川 恵 子	神田外語大学茶道部
事務局	青 木 靖 子	千葉ウイスコンシン協会



使節団の若手メンバー(佐原囃子)



初めて見る日本の生け花に興味深々…



お囃子と踊りで会場に佐原の祭りを再現



民謡協会の演奏は、どの公演先でも大好評！

## 主な公演先

Cedarburg コミュニティセンター  
Longfellow 中学校  
Wilson 小学校 他

公演会場に飾られたウェルカムボード



# バイオマスに関する交流

平成 16 年秋にウィスコンシンからバイオマスグループの一員として千葉県を訪問した Beng Yeap 氏のコーディネートによりウィスコンシン州におけるバイオマス関係の工場や農場などの取り組みについて視察や情報交換を行いました。

ガソリンの値上げが進んでいる現地でも、地球温暖化対策として有効なバイオマス関係の技術開発や事業化に向けて、熱心な取り組みが行われていました。  
(事務局：森山茂男)

## バイオマス視察グループ

寺嶋 芳江	千葉県森林研究センター
時田 正敏	千葉県環境生活部資源循環推進課 バイオマスプロジェクトチーム
横溝 太郎	農事組合法人和郷園
森山 茂男	千葉ウィスコンシン協会



Quantum 牧場 (牛舎前にて)




USDA Forest Products Lab. (森林研究所)



Pheasant Run Recycling and Disposal Facility (右側も)

視察先等



9月9日(金)	アメリカ合衆国森林研究所 (木材チップによる燃焼・発電)	マディソン 
	ウィスコンシン大学 (バイオエタノール生産技術開発)	
	Promega 社 (DNA 研究所との共同研究調印式)	
	Lucigen Corporation (耐熱性の酵素によるバイオエタノール生産技術開発)	
	Virent Energy System 社 (BDF 関連の技術開発)	
9月12日(月)	Quantum Dairy (家畜糞尿のメタン醗酵処理、発電)	Weyauwega (ミルウォーキー北西 170Km)
	UTICA Energy (トウモロコシからバイオエタノールを生産)	Oshkosh (ミルウォーキー北西 130Km)
9月13日(火)	Waste Management 社 Pheasant Run Recycling and Disposal (廃棄物リサイクル・埋め立て処分場&ガス発電)	Kenosha (ミルウォーキー南方 50Km)
	Milorganite (Milwaukee 下水汚泥のリサイクル)	ミルウォーキー

# NEW! 学術・教育分野の交流

千葉大学とウィスコンシン大学の将来的な大学間交流の推進に向けて、今回は千葉大学から阿部名誉教授（法経学部）及び磯崎教授（教育学部）のお二人が友好使節団に参加し、ウィスコンシン大学のマディソン校とミルウォーキー校を訪問しました。

マディソン校においては、当協会の運営委員でもある、キム・サンティアゴさんの仲介により、磯崎教授とケン・シャピーロ教授の対談が実現し、両校の教育学部間の連携に向けた意見交換等が行われました。

また、ミルウォーキー校においては、かねてから千葉県内の大学との交流の推進を希望されていた、同校経営学部長カンティ・プラサド氏や International Education Program を推進しているテリー・ミラー氏と阿部名誉教授との対談、教育学部副学部長のワンダ・ブランチェット氏と磯崎教授との対談が行われ、それぞれ学生の相互派遣や、学部間提携に向けた意見交換等が行われました。

学術・教育分野での交流は今回が初めてでしたが、両県州の大学間の連携に向けて大きな一歩が踏み出されました。

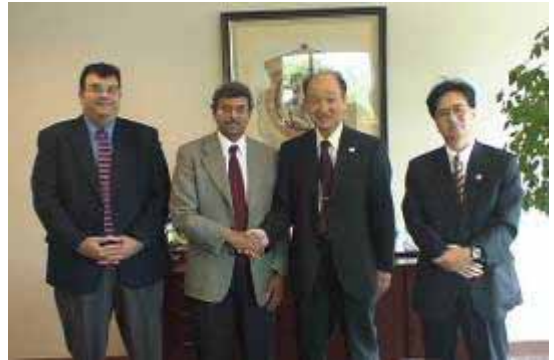
（事務局：加瀬文彦）

## 学術・教育グループ

阿部清司	千葉大学法経学部名誉教授 (千葉県友好使節団団長)
磯崎育男	千葉大学教育学部教授
加瀬文彦	千葉ウィスコンシン協会



ウィスコンシン大学のマスコットBUCKY(バッキ-)



ウィスコンシン大学・ミルウォーキー校にて



ウィスコンシン大学・マディソン校にて

## 旅の終わりに・・・



最終日、滞在先のホテルにて

“Wisconsin-Chiba friendship has already 16 years of history. It is our pleasure to add a new page to this long history of mutual understanding.”

「ウィスコンシンと千葉の友好関係はすでに16年の歴史を持つ。その長い相互理解の歴史に新しいページを加えるのは私達の喜びです」

- ウェルカム・ディナー（マディソン市）での阿部団長のあいさつから -

### 定期総会のご案内

日時：平成18年5月27日（土）午後2時から  
場所：三井ガーデンホテル千葉  
（千葉市中央区中央1-11-1）

定期総会終了後、**記念講演会**及び**交流パーティー**の開催を予定しています。

【編集後記】月日がたつのは早いもので、今年度もあと2ヶ月余となりました。毎月開催される運営委員会では、2回目となる定期総会の準備はもちろんのこと、来年度の運営体制や事業計画について、委員みなでアイデアを出し合いながら検討を進めています。皆様もイベントのアイデアや御意見等がありましたら、事務局までお寄せください。（Nao）

発行所：千葉ウィスコンシン協会  
発行人：森山茂男 編集人：榊田直美  
http://www.chiba-wisconsin.jp/  
〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBG マリブイースト14階  
(財)ちば国際コンベンションビューロー内  
\*電話でのお問い合わせ 043-223-2255(千葉県企画調整課)